

<Vol.80の記事>

## キッズテニス大会 in SAITAMA 出場者&ボランティア募集 地域スポーツクラブフェスタにご参加ください バレエ教室が始まります

### 【キッズテニス大会をご支援ください】

埼玉県内で初のキッズテニス大会を開催します。現在出場者募集中ですが、さらに、この大会運営を手伝ってくださる**ボランティアを募集します**。

浦和スポーツクラブでは、小学生年代からのテニスの普及を図るために、2004年からキッズテニスを開始しました。4年目を迎える今年は、屋外の硬式テニスにステップアップした仲間もできました。また、楽しみながらキッズテニスが続けている仲間もいます。

そんな子ども達に、ゲームを体験してもらうこと、他の地域の子供達と交流する機会を設けることなどを目的に、今年度、おそらく県内では初めてのキッズテニスの大会を、あさひスポーツ・文化スポーツクラブ（北本）等と合同で企画したものです。

素敵な大会となるよう、皆様のお力を貸してください。

テニスの経験は問いません。また、ご家族やご友人でテニス経験のある方などいらっしゃいましたら、ぜひお誘いください。

開催日：10月27日（土）

時間：9時～17時

場所：さいたま市駒場体育館

内容：受付、大会進行、救護等

その他：お弁当、謝金を用意いたします

問い合わせ：クラブ事務局 048-887-7140

また、大会参加者（小学生）も、引き続き募集中です。キッズテニスのプログラムに参加したことがない方でも大会に参加できます。

詳しくは、クラブ事務局もしくは、キッズテニスのコーチにお問い合わせください。

### 【地域スポーツクラブフェスタin上尾】

昨年に引き続き第2回となる“地域スポーツクラブフェスタ”が、10月21日（日）に、上尾市にある埼玉県スポーツ研修センターで開催されます。

このイベントは、埼玉県内の地域スポーツクラブが力をあわせて行うもので、地域スポーツクラブのPR、

いろいろなスポーツプログラムの体験、クラブ間の交流などを目的に開催しているものです。

今年は、以下のようなプログラムが行われます。スポーツの秋、親子で、夫婦で、参加してみませんか？

#### 【午前】

- ・ 親子体操
- ・ テニス初心者教室
- ・ ノルディックフィットネスウォーキング
- ・ 親子フリースロー大会
- ・ トランポリン教室

#### 【午後】

- ・ タグラグビー（体育館で行うタックル無しのラグビーです）
- ・ バランスボール教室 等

### 【バレエ教室が始まります】

和泉先生のバレエ教室が10月から始まります。

曜日：毎週火曜日

時間：15時20分～16時10分

場所：領家スタジオ

対象：主に幼稚園生（年少から可）

会費：4,000円/月

その他：無料体験参加1回できます

また、金曜クラスについても開催準備中です。

以下の日程で体験教室を開催しますので、ご関心のある方はぜひご参加ください。

#### - 無料体験教室 -

月日：10月12日（金曜日）

時間：16時30分～17時20分

場所：領家スタジオ

対象：小学生低学年

参加費：無料

### 【視察相次ぐ・・・】

横浜市体育協会クラブマネージャー講習会

9月9日（日）14時半～17時、横浜市体育協会主催のクラブマネージャー講習会の一環として、クラブ視察に訪れられました。

10月の折り紙教室は「秋桜（コスモス）」をテーマに、色紙をつくります。

シニアの皆様のご参加をお待ちしています。10月24日（水）15時～17時。参加費無料です！

受講者17名に市体協3名の総勢20名が参加されました。

クラブハウスの見学の後、講座室において浦和スポーツクラブの概要、クラブハウス整備の経緯、及びクラブの日常の業務内容や事務局の役割などについて説明をしました。

県スポーツ振興課、スポーツ研修センター

9月20日(木)には、県スポーツ振興課とスポーツ研修センターが視察に見えました。

スーパーシニアサッカー広場、サッカー広場(幼稚園) 駒場キッズテニスを視察の後、クラブハウスでクラブの概要を説明しました。

その後、地域スポーツクラブやスポーツ振興に関する施策についての意見交換などを行いました。

### 【クラブビジョン2008-2017をつくりまします】

これから10年間で、どのようなクラブにしていきたいか、そのためには、どのような展開をしていくべきかなどをまとめたクラブのビジョンを検討することとなりました。

11月中をめどに、サッカー、テニス、フィットネスの各部門で素案をつくりまします。その後、全体で協議を行い、クラブ全体のビジョンを年度内に作成し、新年度(2008年度)からの事業計画に反映させていくことを予定しています。

会員の皆さんからも意見をお待ちしています。

### 【子どものスポーツについて】

「運動神経がいい」とか「私は運動音痴だから・・・」などという言葉が聞かれますが、運動神経の良し悪しは遺伝で決まるのではなく、環境(人的環境および物的環境)と運動への取り組み方によって伸び方が違ってきます。また運動神経は良く伸びる時期と停滞する時期があります。

運動神経が良くなる時期は、大人になるまでに3回訪れます。第一期は直立歩行をするようになってから6歳くらいまでの幼児期です。人は歩くようになるまではひたすら一直線にそこに向かって発達しますが、幼児期になると、歩く・走る・投げる・捕る・転がる・跳ぶなど全ての運動の基本となる動きを並列的に身につけることができます。第2期は小学校中～高学年くらいの時期で、この頃は神経系の発達にともない、コーディネーション能力が急激に伸びます。そして第3期は第二次性徴を終えた後の時期で、この頃には体もできあがり、ウェイトトレーニングなども可能になってより力強い運動をすることができるようになります。この運動神経が伸びる時期を“ゴールドンエイジ”とも言いますが、ゴールドンエイジをものにするためには、子どもたちを取り巻く環境が適切に整って

いる必要があります。

運動神経が飛躍的に伸びるのは第二期で、「運動神経が良い」ことを象徴的に表す“すばしこさ”や“巧みさ”が身につく、目で見ただけの運動をその場でやってみせるといったようなことも起こりますが、これは第一期である幼児期(遅くとも小学校低学年まで)に基本的な動きができるようになっていくことが前提になります。これは建物を建てる時の基礎と同様で、これがないところに何を積み上げてもうまくいくはずがありません。この“基本的な動き”というのは、以前であれば「鬼ごっこ」などの外遊びの中で自然と身についたような動きです。しかし、ご存知のように、現在の子供たちは外遊びに必要な3つの間、つまり“時間”“空間”“仲間”が確保されていません。子どもたちの体力低下も歯止めがきかない状態です。みなさんの中にも、「子どもの走り方がぎこちない」「ボールがうまく投げられない」「転んだときに手が出ない」「すぐ座り込む」というような場面を見たり聞いたりしたことがある方が大勢いると思います。

また、小さな頃からスポーツに親しむ経験のない子どもや競技志向の強いチームに溶け込めずスポーツが苦手だと思込んでしまった子どもは、生涯にわたってスポーツをしようという意欲を持つことができにくいです。これらは放置していい現象とは言えません。子どもの発達に合わせて、その時々適切な動きを身につけられるようなスポーツ環境を整えることは、大人の役目ではないでしょうか。

(出典:(財)日本体育協会HP)

さて、最近のさいたま市における子ども達を取り巻く環境は、子ども達の運動神経を発達させることができる状況にあるのでしょうか。

保護者の皆さんやスポーツ指導者の皆さんは、小さい時にいろいろな動きをさせてあげたりしているのでしょうか。スポーツを続けたいと思える環境をつくってあげられているのでしょうか。

少年団の大会では、どこの会場に行っても、試合をしている子ども相手に怒鳴り散らし・罵倒している指導者の方を必ずと言っていいほどみかけます。あれでは、続けるのが嫌になってしまう子もいるでしょう。

大人の思うとおりに動かないから怒っているのかもしれませんが、動けないのは、それまで大人が与えてきた環境のせいではないのでしょうか。このままでは、子どもの運動能力は低下する一方で、スポーツを続ける子は減ってしまうのでは、と心配になります。

怒鳴り散らす前に、トレーニングの内容を、そして、子ども達のスポーツ環境を、早急に見直す必要があるのでは、と思います。将来、子ども達がどの種目を選んで良いように、適切な発達を促してあげる方法を考えていくことが、For The Children ではなく、